

## 祝 辞

寒い冬が終わり、庭の木々が新しい芽をふくらませ始めています。  
暖かな陽の光に包まれ、あらゆるものが新しく生まれ変わる万象更新  
の季節を迎えました。卒業生の新しい門出にふさわしい光景です。

本日ここに、令和七年度 高瀬中学校卒業証書授与式が、ご来賓な  
らびに保護者の皆様のご臨席のもと、このように盛大に行われますこ  
と、心よりお祝い申し上げます。

六十四名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

保護者の皆様におかれましては、お子様の晴れの日、誠におめでと  
うございます。

ご来賓の皆様には、日頃より学校へのご支援を賜り、厚く御礼を申  
し上げます。

小学校卒業から三年間、中学に入り皆さんは見た目の成長もさること  
ながら、心や考え方なども大きく成長したのではないのでしょうか。  
中学校生活の中では、クラスの運営や生徒会活動、部活動、友達との  
関係など、悩み、苦しんだ時もあったと思いますが、皆さんは共に助

け合い、乗り越えてきました。下級生には、その姿をしっかり伝えることができたとは感じています。

本日、高瀬中学校を卒業される皆さんについての私の一番の思い出は、昨年十月に行った「未来デザイン会議」と題した町と三年生の皆さんとの協働による授業でした。

役場庁舎内にある議会議場等を使い、池田町の課題や要望についての提案を三年生の十二グループから頂きました。プレゼンテーションでは、自分たちの考えをできるだけわかりやすく伝えようと、アイデアと工夫を凝らして取り組みましたね。また、町からの質問に対しても、自分たちの考えを堂々と受け答えしておりました。その姿を大変頼もしく感じた記憶が、今も鮮明に残っています。

学校の授業を通じて地域のこと、池田町のことを真剣に考えてくれたことは、私にとって大変印象深く、うれしい出来事でした。

なかでも、町が特産品として取り組んでいる「ガーデンハックルベリー」の栽培。春に苗を植えて、夏には草取りと水やりを行い、秋には見事百二十キロのハックルベリーが収穫できました。そして何度もジャムの試作を繰り返し、二月には「給食のジャム」として実際に提供されました。こんなにすばらしい挑戦をした学年は、これまでにな

いと思います。

町としても、皆さんの提案に応えようと一つの事業を予算化し、来年実現します。高瀬川河川敷のバスケットボールゴールを新しいものに更新します。皆さんからの提案がなければ実現できなかったゴールです。ぜひ、時間を見つけて自らが提案して実現したバスケットゴールでプレーを思いっきり楽しんでください。

四月からはそれぞれが選んだ別々の道に進んでいくこととなりますが、中学校三年間で養った自分の力を信じ、新しい目標へと進んでください。

限りない可能性を持ち、池田町の将来を担う皆さんのことを、町の皆さんはいつも眩しく見守っています。

そして、誰より皆さんを応援し、見守っていただいているのが保護者の皆さまです。今日までの感謝の気持ちを忘れないでください。皆さんは決して一人ではありません。

校長先生をはじめ、先生方には、本日このように無事卒業式を迎え、素晴らしい子どもたちに育てていただきました。心血を注がれたご指導の賜物と、心より感謝申し上げます。

ここで一つ、卒業生の皆さんにお願いがあります。

町では「ただいま★いけだまち」という合言葉をつくり、いつでも皆さんを家族のように受け入れられるよう取り組みを進めています。皆さんは町の公式LINEをご存じでしょうか。一昨年より始めた、町独自の情報ツールです。今回初めて、卒業生の皆さんのためだけに情報をお送りする受信設定コーナーを設けました。ぜひ登録をお願いします。

皆さんの中には将来、進学や就職によって池田町を離れる機会が訪れる人も多くいるでしょう。たとえ住む場所が変わっても、中学時代を過ごしたふるさとは、友だちとともに、卒業した後もずっとつながってほしいと思います。これからも池田町は、地域の皆さんと一緒に皆さんを応援してまいります。

むすびにあたり、卒業生の皆さんの素晴らしい未来と、高瀬中学校の益々の発展をご祈念申し上げ、祝辞といたします。

令和八年三月十七日

池田町長 矢口 稔